



3日間のクマ対応、ご協力に感謝

クマに出会わないことが最も大切。出没情報によりしっかりと警戒。

6月10日（水）夕方から12日（金）にかけて、大船渡中学校周辺でクマの目撃が相次ぎました。最初の日撃情報を受け、学校では、屋外で活動していた生徒を直ちに校舎内へ避難させ、徒歩通学の生徒を保護者へ引き渡しました。その後も屋外での授業や部活動を取りやめ、徒歩通学の生徒については、保護者等の車両による送迎をお願いしました。

11日（木）は早朝から学校周辺で目撃情報が続き、警察や大船渡市と情報を共有しながら警戒に当たりました。12日（金）午後0時35分ごろには、本校プール脇の斜面をクマ1頭が下る様子を教員と生徒が目撃し、直ちに110番通報しました。3日間を通して、生徒・教職員全員に被害はなく、安全を確保することができました。急なお願いにもかかわらず、送迎や引き渡しにご協力いただいた保護者・ご家庭の皆様、心より感謝申し上げます。また、パトロールや学校周辺の警戒に当たってくださった警察、大船渡市農林課、猟友会、地域の皆様にも、深く感謝申し上げます。皆様との速やかな情報共有と連携が、生徒の安全につながりました。

下の図は、大船渡市、文部科学省、環境省の注意喚起資料をもとに作成したイラストです。万一の際の行動を家族で確認していただきたいと思います。しかし、対応の仕方を知っていても、突然クマを目の前にすれば、驚きや恐怖から冷静さを失い、学んだとおりに行動できないことも考えられます。クマの動きを完全に予測することもできません。だからこそ、最も大切なのは『クマと出会わない』ことです。学校としても、生徒をクマに遭遇させないことを第一に考え、対応してまいります。

クマに遭遇してしまったら

大船渡市、文部科学省・環境省の注意喚起資料をもとに作成

1 近くにクマがいることに気が付いた場合

<p>1 落ち着いて、クマに背を向けずに、ゆっくりその場から離れる</p>	<p>2 大声を出したり、走って逃げたりしない</p> <p>大声・逃走はNG!</p>	<p>3 立木などの障害物の間にはさみ、万が一の突進に備える</p> <p>近くに安全な建物があれば、中へ避難して助けを求めろ</p>	<p>4 子クマを見ても近づかない（近くに親クマがいる可能性がある）</p>
--	---	--	---

<p>1 クマを見ながら、ゆっくり後退する。近くに安全な建物があれば避難する</p>	<p>2 クマが突進してきたら</p> <p>クマスプレーを携行している成人は、クマが4～5mまで近づいたら、風向きに注意し、クマの顔に噴射口を向け、全量を一気に噴射する。</p> <p>4～5m</p> <p>風向きに注意し、製品の説明に従って使用する。</p>	<p>3 襲われたら、うつ伏せになって頭と腹部を守り、両手で首と頭部を守る。転がされても元の姿勢に戻る</p>
---	---	--

<p>まず安全な場所へ避難してから連絡</p> <p>大船渡市農林課 0192-27-3111</p> <p>大船渡警察署 0192-26-0110</p>	<p>危険が迫っている場合は</p> <p>110番通報</p>	<p>大切なのは</p> <ul style="list-style-type: none"> 「落ち着くこと」 「走って逃げないこと」 「安全な場所へ避難すること」 「自分の身を守ること」
--	---	---

6月16日（火）現在、13日（土）以降、学校周辺では新たな目撃情報は確認されていません。一方、大船渡市内ではクマの目撃情報が続いています。ご家庭でも、市が発信する出没情報を確認し、目撃場所やクマが潜んでいそうな場所には近づかないなど、遭遇を避ける行動をお願いいたします。今後も家庭、地域、関係機関との連携を大切にしながら、生徒の命と安全を守ってまいります。引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。